



緊迫する2024年問題への早期対応を！ ～電力総連とともに国土交通大臣要請を展開～



齊藤国土交通大臣に要請書を手渡すJR連合荻山会長（右から2人目）と電力総連・壬生会長（左から3人目）

齊藤国交相と要請書手交 届け！私たちの強い想い！



JR連合・荻山市
朗会長は3月14日、
電力総連の壬生会長
とともに国土交通省
を訪れ、「建設業2
024年問題」につ
いて、建設業の適正
工期の確保などを要
請した。この課題は
4月から適用される
時間外労働の上限規
制や建設業法の改正
などを踏まえ、私た
ちJR東海ユニオン
も重要な課題である
と認識、JR連合が
精力的に行動し実現
したものである。J
R連合からは「現場
で働く仲間のため
に、実効性のある対
応をお願いしたい」
と要望。

これに対し齊藤鉄
男国交大臣は「公共
工事で率先して取り
組んでいく」「若い
人たちに参入しても
らえるよう環境整備
に全力で取り組んで
いく」と決意を述べ
られた。



国民民主党・玉木雄一郎代表にも要請書を手渡す

また、3月12
日には、議事
館に国民民主
党・玉木代表を
訪れ、建設業特
有の問題を取り
上げ、改善を求
めた。「改正建
設業法案」では
現行法で注文者
に定められてい
る「著しく短い
工期による請負
契約締結禁止」
を受注者に対し
ても適用するこ
とから「実効性
を担保できるか
が重要だ」と強
く訴えた。

この問題はJ
R産業にも大き
く関わる事柄で
あることから、
実効的な要請を
これから精力的
に求めていく。